

平成 30 年度 事業計画

基本方針

- 1 県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。
- 2 長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。
- 3 スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を目指す。

事業概要

本会は、上記基本方針の下、埼玉県スポーツ推進計画が掲げる「スポーツを通じた元気な埼玉づくり」に貢献できるよう各種事業を推進します。

公益1・生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブの充実をはじめ、各種研修会や講習会を実施する他、各種助成事業やスポーツ啓発事業に取組み、更なる生涯スポーツの普及・充実を図り、スポーツの魅力をアピールします。

公益2・競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」の目標である「天皇杯・皇后杯ともに第3位以上を獲得する」ことを達成するため、「第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体」では、オール埼玉体制をより強固なものとし、目標の実現に向け、諸事業に取り組みます。

とりわけ、次代を担うジュニア選手の発掘・育成の充実を図るため「プラチナキッズ発掘育成事業」と「彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業」の連携及び担当指導者の連携強化を図るため「ジュニア強化対策合同会議」を実施します。

また、世界に羽ばたく彩の国アスリートから、2年後に迫った「2020年東京オリンピック」で活躍が期待される選手に対し、スポーツ科学の知見に基づくサポート事業を展開し、競技力向上を総合的に支援します。

公益3・スポーツ少年団事業では、県内・国内の交流事業をはじめとする諸事業を通して、次代を担う青少年の健全育成の充実に努めます。とりわけ、指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業をはじめ、各種研修事業の充実に努めます。

公益4・スポーツ総合センター運営事業では、利用者のニーズに応え、トレーニング相談や利用者講習会の拡充に努め、より一層サービスの向上を図ります。

収益1・大宮公園スポーツランド（飛行塔）運営事業では、利用者の安全確保を最優先に、サービス向上に努め利用者の拡大を目指します。

収益2・埼玉アイスアリーナの管理運営事業では、様々なイベント等を実施し、冬季スポーツの魅力をアピールし、利用者の拡大を目指します。

公益Ⅰ 生涯スポーツ振興事業

健康で明るく豊かな地域社会の実現を目指す。

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

(1)クラブアドバイザーの配置

(2)スポーツアシスタントの配置

(3)広域スポーツセンター業務

(4)総合型地域スポーツクラブの設立支援

ア 未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動

イ 総合型地域スポーツクラブ設立を目指す団体、創設支援クラブへの指導・助言

(5)総合型地域スポーツクラブの活動支援

ア 総合型地域スポーツクラブ、自立支援クラブの運営・活動に関する指導・助言

イ 活動実態調査の実施

(6)一般社団法人彩の国SCネットワークの支援

(7)埼玉県クラブマネージャー養成講習会及び日本体育協会公認アシスタントマネージャー養成講習会の開催(同時開催)

期 日：平成30年6月30日(土)・7月1日(日)

検定試験：平成30年7月7日(土)

受講条件：県内で総合型地域スポーツクラブを設立または、クラブ運営に携わる意思のある18歳以上の者

(8)広報活動

2 生涯スポーツ地域振興助成事業の実施 (20事業)

広域地区のスポーツ振興と地域文化の発展を図るため、二市町村以上の団体の交流を支援する。

3 市町村体育協会連絡会議の開催(再掲：法人 1—(4))

地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育協会との意見・情報交換を行うとともに、関係機関・関係者との連携を強化する。

期日：6月下旬～7月上旬で調整中

会場：東部：加須市 西部：狭山市 南部：さいたま市 北部：熊谷市

4 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会の開催

日本体育協会公認競技別指導者養成講習会の開催(8月～)

指導員 専門科目4競技：空手道・バドミントン・ソフトボール・山岳

受講対象者：原則として、指導員18歳以上。

※競技毎で別に定める。

5 埼玉県立武道館の指定管理

- (1)株式会社サイオーと共同事業体を組織し、埼玉県立武道館の指定管理を行う。
- (2)県立武道館の主催事業について協力・支援を行う。
- (3)スポーツフェアの開催

期日：平成30年5月13日(日)

会場：スポーツ総合センター・県立武道館・埼玉アイスアリーナ

6 県民総合体育大会及び埼玉県駅伝競走大会の開催(通年・2月)

(1)県民総合体育大会

期日：5月～2月 会場：県内各地

大会数：約500 参加者数：約400,000名

(2)埼玉県駅伝競走大会

ア 第5・6部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

期日：平成30年11月4日(日) 会場：熊谷スポーツ文化公園内

イ 第1～4部(1部：一般男子/2部：市町村男子/3部：高校男子/4部：高校・一般女子)

期日：平成31年2月3日(日)

会場：さいたま新都心駅前～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

7 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

- (1)「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)・「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県体育協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放します。

(2)トレーニング相談の実施

8 スポーツ活動の支援事業の充実

- (1)国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施。

公益財団法人日本体育協会国民体育大会参加者傷害補償制度の加入促進と安全意識の向上を図る。

- (2)秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援(9月)

期日：平成30年9月9日(日)

会場：秩父市内特設コース

対象：一般男子、高校生A・B等、全9部門

- (3)スポーツ活動助成事業

氷上スポーツの振興を図る。

9 指定寄付・賛助会員制度の推進

- (1)本会、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図る。

ア サイニチホールディングス杯 第3回 彩の国 Spring フィギアスケート競技会支援

期日：平成30年5月3日(木)～5日(土)

会場：埼玉アイスアリーナ

(2)賛助会員制度の推進。

10 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

(1)本会加盟団体運営補助事業

(2)学校体育団体等補助事業

11 スポーツ活動における安全管理

(1)体育協会主催行事にかかる賠償責任保険制度の活用

(2)スポーツ傷害保険の活用

(3)リスクマネジメントに係る研修会の促進

12 広報・普及活動事業

(1)キャッチフレーズの活用

(2)「スポーツ埼玉」誌の発刊(年4回：県内スポーツ関係機関等に配布)

(3)IT及びホームページの活用と充実

13 顕彰事業

(1)埼玉県体育賞

埼玉県の体育・スポーツの振興・発展に貢献し、その功績が顕著な者に功労者表彰を贈り表彰する。

また、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた選手又はチーム等に優秀選手賞・栄光賞・会長特別賞を贈り表彰する。

期日：平成31年3月9日(土)

会場：さいたま共済会館

※会長特別賞は随時

(2)公益財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰(3月)

スポーツ全般において優秀な成績を収めるなど、敬愛を受け真に他の生徒の模範となる生徒を表彰する。

14 スポーツ教室の開催

(1)アイスホッケー体験教室

期日：1教室3ヶ月(4～6月・7～9月) 毎週日曜日 朝7：15～8：45

対象：県内在住・在学の園児から小学生まで

(2)アイスホッケージュニア(中学生)育成事業

期日：毎月1回、埼玉県アイスホッケー連盟が指定する日

対象：県内在住・在学の中学生アイスホッケー競技者。

体験教室修了者のうち継続してアイスホッケー競技を専攻したい者。

(3)女子アイスホッケー普及・育成事業

期日：毎月3回程度、埼玉県アイスホッケー連盟が指定する日

対象：県内在住・在学の女子、または県アイスホッケー連盟登録者等。

体験教室修了者及び県アイスホッケー連盟普及事業参加者で、埼玉選抜等で活動した者。

(4)団体利用者スケート教室

対象：埼玉県スポーツ少年団登録団・一般社団法人彩の国SCネットワーク加盟クラブ

(5)課外授業用スケート教室

対象：県内小中学校及び高等学校並びに特別支援学校

公益2 競技力向上事業

目標：次代を担う彩の国アスリート並びに世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成するとともに、天皇杯・皇后杯ともに3位以上を目指す。

◎第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体

【会期前】

期日：平成30年9月9日(日)～17日(月)

競技：水泳・バレーボール・ハンドボール・クレ射撃

会場地：福井県：敦賀市・若狭町・小浜市・福井市・永平寺町・勝山市・石川県：金沢市

【総合開会式】

期日：平成30年9月29日(土) 会場：福井県営陸上競技場

【本大会】

期日：平成30年9月29日(土)～10月9日(火)

(自転車競技9月25日(火)～29日(土))

競技：陸上競技 他32競技

会場地：福井県内 福井市 他 16市町 県外 静岡県御殿場市

◎第74回国民体育大会

【スケート・アイスホッケー競技会】

期日：平成31年1月30日(水)～2月3日(日) 会場地：北海道 釧路市

【スキー競技会】

期日：平成31年2月14日(木)～17日(日) 会場地：北海道 札幌市

1 第1期強化訓練事業(4月～9月：冬季競技を除く)

県外への遠征試合(合宿)や県内で実施される全国・国際級の強化合宿等への合同合宿及び強化訓練を実施し、スポーツマンシップの下、フェアプレー精神を発揮し21世紀に躍進する「スポーツ埼玉」を代表するに相応しい選手の育成・強化を図る。

2 スポーツ環境整備事業

- (1)強化訓練施設が不足している冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の場を確保し強化訓練を実施する。(冬季競技重点施策)
- (2)本会加盟競技団体の競技用器具機材等の整備。

3 支援スタッフサポート事業

(1)医学サポートスタッフ派遣補助事業

国民体育大会において、本県選手の誤飲によるドーピングの防止、スポーツ傷害の防止やメンタル的サポートなど、医学サポートの充実を図る。

対象者：競技団体所属顧問医及び公益財団法人日本体育協会公認アスレティックトレーナー又は医療関係の国家資格を有するトレーナー

(2)競技別支援スタッフの派遣

国民体育大会において本県選手が最大限の競技力を発揮できる環境を整備するため、支援スタッフを派遣する。

対象者：競技団体長から推薦のあったもの

4 競技団体指定クラブ強化事業

各競技で優秀な選手を輩出しているクラブや今後期待されるクラブと連携し、選手強化を行う。

5 ジュニア育成補助事業

(1)彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業

県内の優秀なジュニア選手を早期に発掘し、定期的・継続的な一貫指導を実施し、長期的な観点で世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

(2)プラチナキッズ発掘育成事業

県内の小学4年生を対象に、体力・運動能力が特に優れた子どもを組織的に発掘し、スポーツ医・科学に裏付けされた育成プログラム等を小学校6年次まで(3年間)実施することにより、中学校・高等学校の大会、国民体育大会を通じ、将来、オリンピックをはじめとする国際大会で活躍するトップアスリートを育成し、埼玉県競技力の向上を図る。

(3)ジュニア強化対策合同会議

ジュニア期(小学4年～高校2年)の選手を育成・指導する中・高体連及び競技団体の指導者が一堂に会し、競技力向上に関する現状や課題等を共有し、連携を深めるとともに、一貫指導体制の構築をより一層推進し、ジュニア選手強化を図る。

6 中・高体連育成強化事業の実施

中・高校一貫指導により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での活躍により、愛郷心を芽生えさせ世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

7 日本体育協会公認コーチ取得の促進

世界に羽ばたく彩の国アスリートの育成に必要な質の高い指導者の確保と、国民体育大会の監督等に対する公認スポーツ指導者資格登録の義務化にともない、コーチ資格の取得を促進し、優秀な指導者を確保する。

8 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

期日：平成30年6月6日(水)

会場：埼玉県県民健康センター

9 関東ブロック大会及び国民体育大会埼玉県選手団の編成及び派遣

中心会期：平成30年8月17日(金)～19日(日)

会場：茨城県

10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議

競技力向上に関する指導者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する研修を行うとともに、第73回国民体育大会『福井しあわせ元気国体』での必勝体制の確立を図る。

期日：平成30年7月3日(火) 会場：スポーツ総合センター

対象：各競技団体理事長・強化委員長・国体候補監督

11 競技団体長・支援企業等協議会

競技団体及び支援企業・大学等の関係者が一堂に会し、本県のスポーツの振興とりわけ競技力の向上等について協議し、相互理解と協調・協力体制の確立を図る。

期日：平成31年1月11日(金) 会場：浦和ロイヤルパインズホテル

対象：競技団体会長・県内協力企業等

12 埼玉県スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進を図る研修会を実施する。(公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修)

期日：調整中 会場：調整中

対象：公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者

13 競技別義務研修会 (14事業)

埼玉県スポーツ指導者協議会と連携し競技別義務研修会を実施する。

14 国際競技派遣事業

本県競技団体所属の選手が、日本を代表して国際大会に出場する際の経費について、定額補助により個人負担の軽減を図る。

15 第73回国民体育大会表彰式(11月)

第73回国民体育大会において優秀な成績を収めた団体・個人を表彰し栄誉を称える。

期日：平成30年11月13日(火) 会場：埼玉会館

対象：第73回国民体育大会 入賞団体・個人

16 コーチのしおり・科学委員会会報の発刊

(1) コーチのしおり

発刊時期：3月 作成部数：750部作成

主な配布先：各競技団体、県内高等学校、高等学校体育連盟・中学校体育連盟等

(2) 科学委員会会報

発刊時期：6月 作成部数：200部

主な配布先：加盟団体・スポーツ科学委員会委員

17 スポーツ科学研究事業

スポーツを医学的、科学的、コーチング、アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図る。

(1) ドーピング防止教育啓発事業 (4事業)

高等学校総合体育大会・国民体育大会結団式及び国民体育大会選手選考会議、各種研修会等でドーピング防止教育・啓発研修を実施する。

(2) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

国体候補選手の間診票による健康管理。

(3) Platinumkids メディカルチェック・体力測定

Platinumkids 修了生から将来、オリンピックをはじめとする国際大会で活躍するトップアスリートを輩出するため継続的なメディカルチェックと体力測定を実施するものである。

対象：Platinumkids 小学5年生 30名

平成30年11月18日(日)・25日(日)

Platinumkids 中学2年生(修了生) 30名

平成30年12月9日(日)

(4) 国民体育大会帯同ドクター派遣 7名派遣(会期前：2名・本大会3名・冬季2名)

大会期間中の埼玉県選手団の健康相談や傷病等の応急処置を行う。

ア 会期前競技会(4競技)

2名 派遣期間 平成30年9月9日(日)～9月16日(日)(8日間)

イ 本大会(33競技)

3名 派遣期間 平成30年9月29日(土)～10月9日(火)(11日間)

ウ 冬季(スケート・アイスホッケー競技会)

1名 派遣期間 平成31年1月30日(水)～2月3日(日)(5日間)

エ 冬季(スキー競技会)

1名 派遣期間 平成31年2月14日(木)～2月17日(日)(4日間)

(5)研修会・講演会の開催

ア トレーナー研修会

1回目：期日：9月 会場：浦和コミュニティセンター

2回目：期日：3月 会場：浦和コミュニティセンター

イ コーチングセミナー

国内トップレベルの指導者による講演・実技等を実施する。

期日：対象競技のオフシーズンに開催

対象：対象競技指導者

ウ 都道府県スポーツ指導者研修会（旧ビクトリーサミット）

長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図るための研修会を実施する。

期日：平成30年12月2日(日) 会場：スポーツ総合センター

参加対象者：公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者・競技団体指導者

エ 講演会及びパネルディスカッション 各年1回(2月)

スポーツ指導者研修会において、指導者の資質向上に関する講演会及びパネルディスカッションを行う。

期日：調整中 会場：調整中 対象：公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者

18 スポーツ科学による支援事業

2020東京オリンピックを見据え、世界に羽ばたく彩の国アスリートの中から、オリンピック出場が期待できる選手（彩の国ドリームアスリート）に対し、スポーツ科学の知見に基づくトレーニング指導、栄養指導及びメンタル指導、女性アスリートサポートを行い、競技力向上を総合的に支援するものである。

(1) 専門スタッフの配置

ア スポーツトレーナー

イ 管理栄養士

ウ メンタルトレーナー

エ 女性医学サポート担当

(2) 競技力向上のサポート

ア トレーニング指導

イ 栄養指導

ウ メンタル指導

エ 女性アスリートサポート

19 公益財団法人日本体育協会委託事業の実施（ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト）

（公財）日本体育協会が中心となり、将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリ

ートから、メダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートとなり得る人材を全国から発掘し、活動拠点県（以下「拠点県」）で合宿等のトレーニングにより、中央競技団体の強化育成コースに導くもので、本会では、そのうちのボート競技の拠点県として、埼玉県ボート協会と連携し、本県のボート競技のより一層の競技力の向上を図る。

期 日：平成30年4月～10月（月1回程度の合宿）

会 場：戸田ボートコース 他

公益3 スポーツ少年団事業

目標：スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、それらを育む指導者の養成と資質の向上を図る。

1 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1)埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催(13種目)

ア 個々のスポーツの特性(ルールや指導技術など)を学び、それらを習得する過程でマナー・モラルについて研鑽し次代を担う人づくりを行う。

イ 次代を担う人づくりのために、子どもたちを指導する大人たちの資質の向上を図る。

実施種目：サッカー・軟式野球・バスケットボール・バレーボール・剣道・ソフトボール・空手道・柔道・バドミントン・ソフトテニス・体操・複合・駅伝

(2)埼玉県スポーツ少年団大会(8月：スポーツ総合センター)

野外活動を通じて、団員の相互の交流と親睦・協調と協力を図るとともに、次代を担うリーダーの育成を図る。

(3)東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

東日本大震災後、自由に外遊びやスポーツ活動をする事ができない福島県の子供たちに、本県スポーツ少年団団員とスポーツ交流を通じて、子どもたちの笑顔の力で、一日でも早い被災地の復興を祈念する。

期日：平成30年8月10日(金)～12日(日)

会場：スポーツ総合センター・さいたま水上公園

対象：福島・埼玉県スポーツ少年団 小学生団員 各80名

2 第45回日独スポーツ少年団同時交流事業(7月～8月)

(1)派遣 期 日 7月31日(火)～8月17日(金)

場 所 ドイツ連邦共和国

派遣者 指導者1名

団 員6名

※指導者の派遣は茨城県と隔年派遣(平成30年度は本県)

(2)受入 期 日 7月26日(木)～8月2日(木)(7泊8日)

場 所 吉見町

3 指導者養成・研修事業

(1) 認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会

(県本部開催：1コース 市町村開催：22コース補助)

日本スポーツ少年団指導者制度に基づき、単位団活動の指導・運営にあたる指導者の養成。(検定合格者には日体協公認スポーツリーダーが付与される。)

県本部開催 期日：平成30年10月27日(土)・28日(日)

対象：平成30年度スポーツ少年団登録指導者

市町村開催： 期日：5月～2月

対象：平成30年度スポーツ登録指導者及び平成31年度登録予定者

(2) 認定育成員研修会(5月)

スポーツ少年団の牽引役である認定育成員の更なる資質の向上と活動体制の充実を図る。

(3) 認定員研修会(市町村25コース補助)

スポーツ少年団認定員指導者の資質の向上を図る。

(4) 母集団研修会(市町村25コース補助)

少年団の育成とその活動の充実を図るために母集団の結成と活動を促進する。

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修

県内市町村スポーツ少年団の種目別指導者が参加し、種目別大会の今後の運営方法について協議するとともに、相互の情報交換と情報提供を行う。

期日：平成31年1月26日(土)・27日(日) 会場：栃木県日光市

対象：各市町村本部役員・各市町村種目別代表者・各市町村事務担当者

(6) 研究大会等派遣

関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

期日：平成30年11月3日(土)・4日(日) 会場：千葉県

4 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣

日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、ジュニア・リーダー修了者を対象に単位団及びリーダー会において模範となって活動する団員を育てる。

期日：平成30年8月9日(木)～8月13日(月)

会場：静岡県 国立中央青少年交流の家

対象：平成30年度スポーツ少年団団員登録を行い、義務教育を終了した20歳未満で、リーダースクール(ジュニアコース)修了者。

(2) ジュニア・リーダースクールの開講

ア 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てる。

期日：平成30年8月16日(木)～19日(日)

対象：各市町村スポーツ少年団における登録リーダーで、現在スポーツ少年団活動を行っており、将来もリーダー・指導者として活動のできる中学生
イ 小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

(ジュニア・リーダースクール補助事業：市町村10コース)

(3)全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

都道府県におけるリーダー会及びリーダー活動の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

期日：平成30年6月16日(土)・17日(日)

会場：東京 国立オリンピック記念青少年総合センター 他

対象：リーダー育成担当指導者1名 代表リーダー1名

(4)関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会派遣

都県の市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する

期日：平成30年10月20日(土)・21日(日) 会場：栃木県

(5)埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成

5 地域交流補助事業(市町村80コース)

スポーツ少年団活動の活性化と地域交流の促進を図るため、2市町村以上のスポーツ少年団が実施する

6 国内交流大会派遣事業

(1)全国スポーツ少年団大会

期日：平成30年8月2日(木)～5日(日) 会場：茨城県・行方市 他

対象：引率指導者 1名 中高校生(ジュニアリーダー資格保有者) 5名

(2)全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

期日：平成30年7月28日(土)～31日(火) 会場：長崎県

対象：第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の勝者2チーム

(3)全国スポーツ少年団剣道交流大会

期日：平成31年3月27日(水)～29日(金) 会場：山口県・山口市

(4)全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

期日：平成31年3月28日(木)～31日(日) 会場：大分県・別府市

(5)関東ブロックスポーツ少年大会

期日：平成30年8月10日(金)～12日(日) 会場：群馬県前橋市

対象：引率指導者 1名 小学6年生・中学生以上の団員 15名

(6)関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

期日：平成30年7月27日(金)～29日(日) 会場：山梨県甲府市他

※軟式野球 平成30年7月21日(土)・22日(日) 会場：富士吉田市他

※(5)・(6)については、関東各都県輪番制(8年毎に本県開催)

- 7 スポーツ少年団「スポーツ ともだち 仲間たち」の発刊
発刊時期：7月・12月・3月 発刊部数：6000部／1回
配布先：各市町村スポーツ少年団本部・スポーツ少年団登録団(3部)
- 8 埼玉県スポーツ少年団表彰
スポーツ少年団において永年活動してきた指導者を表彰し、今後より一層の活動を促し、
スポーツ少年団発展に寄与する。
期日：平成30年12月8日(土) 会場：東武バンケットホール上尾

公益4 スポーツ総合センター運営事業

1 スポーツ総合センターの管理・運営

(1)施設利用に係る受付業務

体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行う。

(2)施設設備の維持管理

建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行う。

(3)トレーニング場利用者講習会 (月2回)

トレーニング場を個人利用するための講習会を行う。

収益1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

東京ハイランド(有)へ委託運営

収益2 埼玉アイスアリーナの管理運営

パティネレジャー(株)へ委託運営

法人 県体育協会運営事業

1 諸会議

- (1)評議員会 年2回 (5月・3月)
(2)理事会 年4回 (5月・9月・12月・3月)
(3)加盟団体協議会 (5月・3月)
(4)市町村連絡会議 (6月：県内東西南北各1会場(計4会場))
(5)専門委員会
ア 総務委員会 年3回 (9月・12月・3月)

イ 選手強化対策委員会

- ・強化対策常任委員会 年3回(4月・9月・12月)
- ・強化対策委員会 年3回(4月・9月・1月)
- ・競技団体合同説明会 年1回(4月)
- ・国民体育大会候補選手等強化特別委員会 年1回(6月)
- ・第73回国民体育大会埼玉県選手団選考・監督会議 年1回(9月)
- ・第74回国民体育大会競技別強化対策会議(11月:2日間)
- ・ジュニア強化担当者合同会議 年1回(12月)

ウ 普及委員会 年1回 (8月)

エ 広報委員会 年2回 (6月・12月)

オ 施設委員会 年1回 (7月)

カ スポーツ科学委員会 年2回(6月・3月)

- ・スポーツ科学専門部会 年3回(6月・11月・3月)
- ・スポーツ医学専門部会 年3回(6月・3月)
- ・コーチング専門部会 年4回(6月・7月・10月・2月)
- ・アンチ・ドーピング専門部会 年3回(5月・7月・3月)

カ 指導者委員会 年1回(7月)

※その他、諮問委員会、特別委員会、各種打合せ及びスタッフ会議は適宜開催。

(6)その他

ア スポーツ少年団

- ・本部員会 年5回(5月・7月・10月・12月・3月)
- ・代議員会 年1回(6月)
- ・ブロック本部長会議 年4回(県内4地区各1回:11月~12月)
- ・スポーツ少年団3専門委員会(指導者・リーダー育成委員会、企画広報委員会、活動交流委員会)及び指導者協議会、種目別担当者会議等(通年)
- ・市町村スポーツ少年団事務担当者会議 年1回(3月)
- ・埼玉県スポーツ少年団県大会及びジュニアリーダースクールスタッフ会議(8月)

イ スポーツ指導者協議会

- ・理事会 年2回(6月・1月)